

特集

有害ごみの種類と出し方

〜正しく出して安全な収集と適正処理を〜

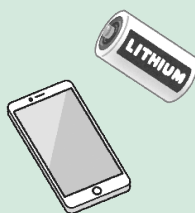
環境センターでは、令和7年12月より「有害・危険ごみ」を「有害ごみ」と改め、リチウムイオン電池の収集を新たに始めました。有害ごみの種類や出し方について、確認してみましょう。

有害ごみは品目ごとに分け、別々の袋に入れて出してください

リチウムイオン電池等・内蔵製品

リチウムイオン電池単体の製品や取り外すことができない製品を出すことができます。

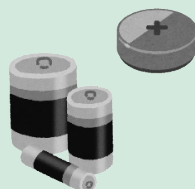
電極部が露出しているものはビニールテープ等で絶縁してください。



乾電池・ボタン電池

プラス極とマイナス極が触れると発火の恐れがあります。ビニールテープ等で絶縁対策をしてください。

また、リチウムイオン電池とは別に出してください。



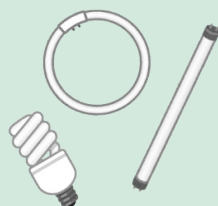
スプレー缶

穴あけの必要はありません。また、未使用品や中身が残っていても出すことができます。



蛍光灯

蛍光管は購入時の包装箱などに入れて出してください。割れた蛍光管は新聞紙などで包んで割れていることを記載してください。



ガスライター

分解の必要はありません。また、未使用品や中身が残っていても出すことができます。



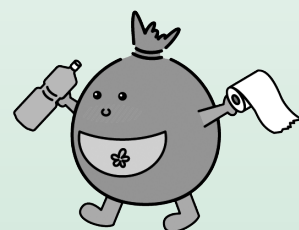
有害ごみは中身を確認できる透明・半透明の袋を使用して出してください。



膨らんだリチウムイオン電池については、集積所に出さず環境センターに直接持ち込んでください。



有害ごみを誤った方法で出すと火災などの大きな事故につながる可能性があります。皆さまの分別という小さな行動の積み重ねが街の安全につながります。



収集されたリチウムイオン電池等はどのような？

家庭から出されたリチウムイオン電池等は環境センターに集められ、異物が入っていないか選別した後、再生工場に運ばれます。

再生工場では分別、解体・分離、熱処理の工程を経て、中にある再生金属を取り出します。

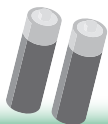
こうして取り出した再生金属は再び電池に生まれ変わるほか、ステンレス製品やジェットエンジンの材料などにも生まれ変わり、社会の役に立っています。



正しく分別されたリチウムイオン電池ごみ

●市場

抽出した再生金属の原料はニカド電池やステンレス製品等に生まれ変わり再び使われる



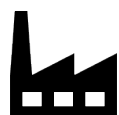
●各家庭



分別されたリチウムイオン電池等を有害ごみとして出す



●再生工場



工場では再資源化処理を行い、再生金属の原料を抽出する



●環境センター

リチウムイオン電池等を選別・保管し、再生事業者へ引き渡す



有害ごみの分別にご協力ください

有害ごみについては平成24年より「有害・危険ごみ」として収集を行っていましたが、正しく分別がされていないものが多くあります。

「有害ごみ」は、複数の品目を収集をしていますが、処分・リサイクルの方法はそれぞれ異なります。

複数の品目を同じ袋で出してしまうと、複数の品目を同じ袋で出してしまうと、適正な処理に支障をきたします。適切な分別へのご協力をお願いします。



→電池・スプレー缶・ライターなどが分別されずに出されている袋



有害ごみに混ざっていた充電コード
(燃やせないごみ) ←

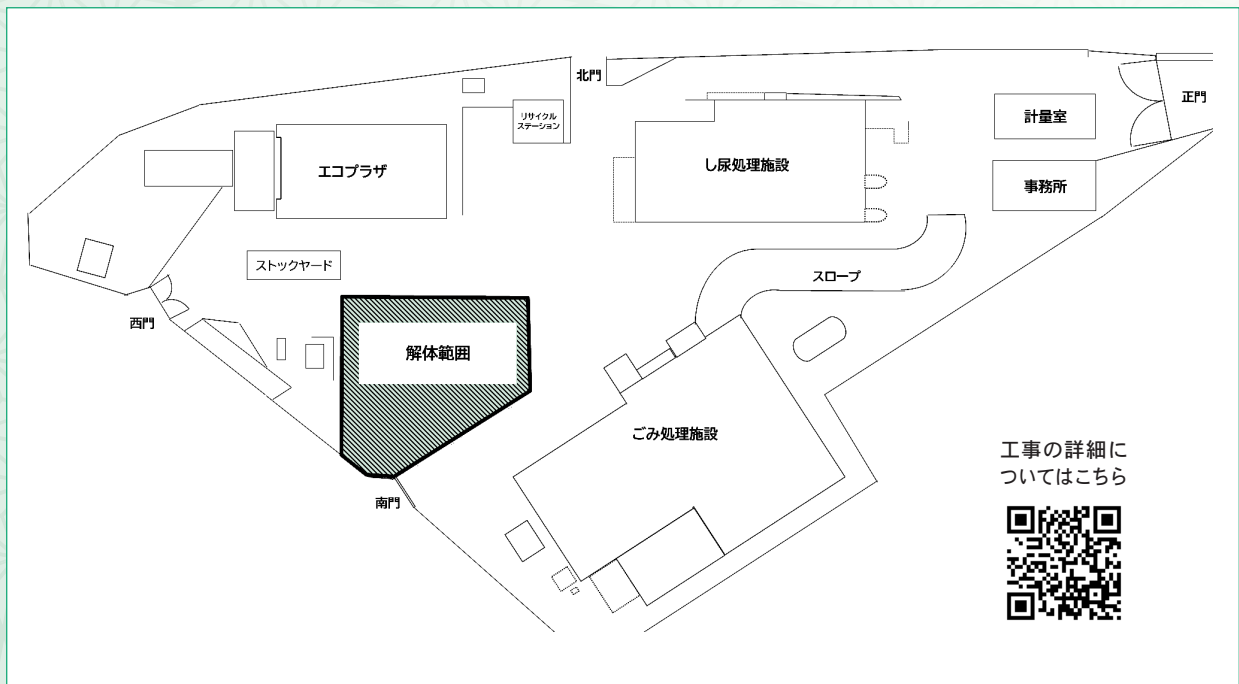
旧し尿処理施設解体工事に伴うお知らせ

環境センターのごみ焼却施設は、平成7年2月の稼働から31年が経過し、経年劣化による設備・機器類の老朽化が進んでいることから、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施する予定です。（詳細はホームページ等でお知らせします）

工事実施に向けて、ごみ焼却施設西側の旧し尿処理施設及びテント倉庫の解体工事に着手しており、場内の通行スペース等が縮小しております。

年末年始等の大型連休中など、ごみの持ち込みが混雑する際には、屋外に荷下ろし場所を設置しておりますが、工事期間中は大型重機などが稼働しているほか、場内の混雑も予想されることから、**家庭ごみについては、可能な限り環境センターへの持ち込みを控えていただき、集積所に出せるごみは、集積所のご利用をお願いします。**

市民の皆さまにはご不便をおかけしますが、安定したごみ処理の継続に向けて、より一層のごみの減量化へのご理解とご協力をお願いします。



解体工事のおおよその範囲

排出ガス中のダイオキシン類の測定結果について

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、ごみ焼却施設の各焼却炉の測定を年に1回実施しています。

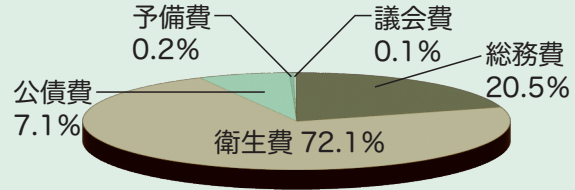
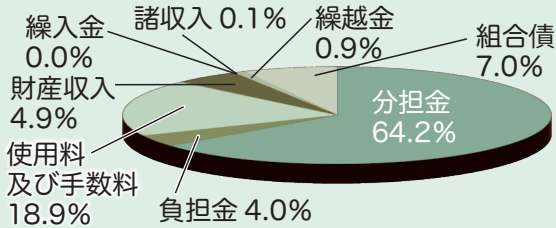
ごみ焼却施設	測定日	排出ガス中のダイオキシン	
		測定値	基準値
1号炉	休炉中のため未測定		5以下
2号炉	令和7年5月10日	0.077	
3号炉	令和7年6月24日	0.110	



その他の測定値はホームページで公表しています。

令和8年度 当初予算の概要

令和8年第1回(3月)蓮田白岡衛生組合議会定例会において、令和8年度当初予算が成立しました。



歳入 22億1,338万1千円

- 分担金** 14億2,002万3千円
ごみ、し尿の処理、施設の維持管理(機械修理や焼却灰の処分費)にかかる経費を蓮田市と白岡市が負担しているもの
- 負担金** 8,907万4千円
ごみ処理費のうち不燃ごみ(ガラス類・ペットボトル)の収集運搬にかかる経費等を蓮田市と白岡市が負担しているもの
- 使用料及び手数料** 4億1,925万1千円
組合事業から生じる収入(指定ごみ袋やし尿清掃券の販売代金、ごみの直接持ち込み手数料など)
- 財産収入** 1億668万9千円
資源物(鉄、アルミ、古紙類など)の売却益など
- 繰入金** 1千円
施設整備基金からの繰入金
- 繰越金** 2,000万円
前年度の繰越金
- 諸収入** 194万3千円
組合預金利子、広告収入など
- 組合債** 1億5,640万円
資源物保管倉庫等の建設工事にかかる借入金

歳出 22億1,338万1千円

- 議会費** 183万5千円
組合議会の運営にかかる経費
- 総務費** 4億5,286万7千円
職員給与や財産管理等にかかる経費
- 衛生費** 15億9,669万7千円
ごみやし尿の処理にかかる経費
 - ・清掃総務費 5億1560万1千円
 - 電気・水道代ほか
 - ・じん芥処理費 9億7,387万1千円
 - ごみ処理にかかる経費
 - ・し尿処理費 1億455万5千円
 - し尿処理にかかる経費
 - ・リサイクル促進費 277万円
 - リサイクルプラザの運営、事業にかかる経費
- 公債費** 1億5,698万2千円
施設の建設、補修のための借入金の元利償還金
- 予備費** 500万円
地方自治法第217条に基づき計上する経費



廃棄物減量等推進審議会から答申がなされました



写真：左から
大塚副会長、佐々木会長、
山口管理者、藤井副管理者

蓮田白岡衛生組合廃棄物減量等推進審議会では、令和6年7月に管理者から「有料指定ごみ袋の見直し」について諮問を受け、容量や形状、材質、運用、手数料など多岐にわたる事項について、2か年にわたり慎重に審議が行われました。

審議会からは、令和8年3月に答申が提出され、社会状況の変化や住民ニーズを踏まえた見直しの方向性が示されました。

当組合では審議会からの答申を受け、利便性の向上とごみの減量化のため、有料指定ごみ袋の仕様や運用の見直しについて、市民の皆さまへの十分な周知に努め、理解を得ながら円滑な導入に向けて取り組んでまいります。

生ごみの水切りにご協力ください



生ごみを始めとする燃えるごみには、水分が約50パーセントも含まれています。この水分が時間経過とともに悪臭や害虫の原因になります。また、ごみが燃えにくくなるため、燃やすための重油などを余計に使うことにもつながります。

生ごみを捨てる前に水切りをする、野菜くずを捨てる前に乾かすなど、少しの工夫で水分を減らすことができ、環境を守るにつながります。一人ひとりのちょっとした心がけがとても大切です。できることからご協力をお願いします。

ご案内

体験講座



包丁研ぎ

普段使っている包丁を砥石で研ぐ技術を学びます。

日時 7月12日(日)・9月13日(日)

11月8日(日)(いずれも午前10時〜11時半)
※各回同じ内容で実施します。

定員 各回10名

費用 200円(保険代)

講師 黒須 義弘氏

空き缶でランタン作り

環境センターに集められたアルミ缶を使って災害時に役立つ簡易ランタンを作ります。

日時 7月25日(土)・10月17日(土)・12月5日(土)

(いずれも午前10時〜正午)

※各回同じ内容で実施します

定員 各回5組(小学生以下のかたと保護者)

費用 1組200円(保険代)

講師 環境センター職員

ペットボトルロケット作り

ペットボトルを使ってロケットを作ります。

日時 8月1日(土)

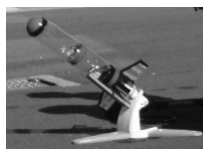
午前10時〜正午

定員 6組(小学生以下のかたと保護者)

と保護者)

費用 1組200円(保険代)

講師 環境センター職員



アルミ缶でおもちゃ作り

環境センターに集められたアルミ缶を使ってポンポン船を作ります。

日時 8月2日(日) 午前10時〜正午

定員 6組(小学生以下のかたと保護者)

費用 1組200円(保険代)

講師 水野 豊氏

親子で体験 布のリフォーム

着なくなった衣類や余った布を使って、親子で楽しくリフォーム体験を行います。

日時 8月23日(日) 午前9時半〜正午

定員 6組(小学生以下のかたと保護者)

費用 1組200円(保険代)

講師 齋藤 由枝氏

段ボールトイレ作り

段ボールを使って災害時に役立つトイレを作ります。

日時 9月27日(日) 午前10時〜正午

定員 8名

費用 200円(保険代)

講師 環境センター職員

布のリフォーム

着なくなった衣類や余った布を活用し、簡単なリフォームに挑戦します。

日時 10月24日(土) 午前9時半〜正午

定員 8名

費用 200円(保険代)

講師 齋藤 由枝氏

エコ紙芝居教室

紙芝居、体験してみませんか？ お子様連れも大歓迎！

日時 11月5日(木) 午前10時半〜正午

定員 5名

費用 200円(保険代)

講師 劇団 さいのこ

しめ縄作り

自然素材を使って、しめ縄を手作りします。身近な素材を生かす楽しさを学びます

日時 11月29日(日) 午前10時〜正午

定員 8名

費用 200円(保険代)

講師 菱沼 賢司氏

フェルトでおもちゃ作り

フェルトを使って、手のひらサイズのかわいいおもちゃを作ります。端材などの素材を生かす楽しさを学びます。

日時 12月13日(日) 午前10時〜11時半

定員 8名

費用 200円(保険代)

講師 東 和美氏

体験講座の申込み、

お問合せはエコプラザまで

☎048019310077

※ 祝日及び水曜日は休館です。



エコプラザ イベント 情報

こども服・おもちゃ交換会

着られなくなったこども服やいらなくなったおもちゃを持ち寄って交換しよう！

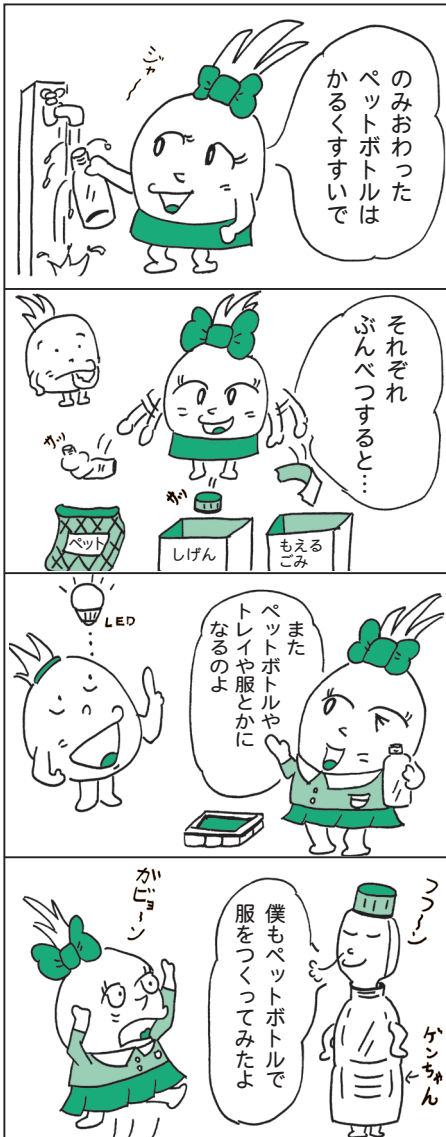
※著しく汚れているものや破損のあるものは交換できません。

日時 8月22日(土)〜23日(日)・12月19日(土)〜20日(日) 午前9時〜午後4時

フードドライブ

家庭で余っている食料品を市内のこども食堂や福祉団体等に提供するため、「フードドライブ」を開催します。

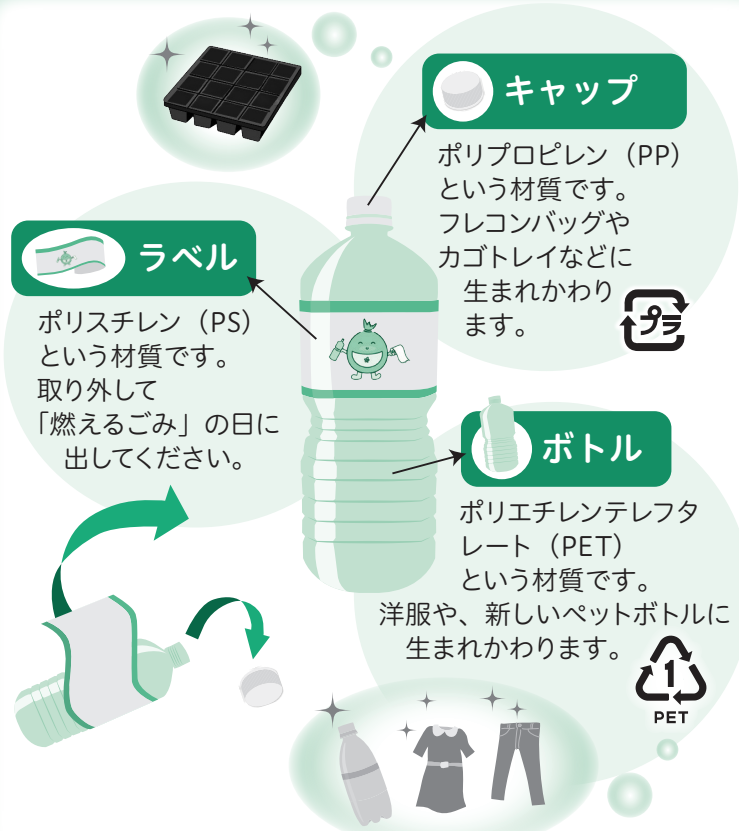
日時 11月14日(土)〜15日(日) 午前9時〜正午



ペットボトル、どうして分別するの？ ～ペットボトルごみのゆくえ～

ペットボトル本体とキャップ・ラベルは材質が異なり、再利用の方法もそれぞれ異なるため、ラベルやキャップを外して出すようにお願いしています。資源の有効活用のため、正しい分別にご協力をお願いします。

ペットボトルの材質について



6月号の表紙



3月22日に実施された「ペットボトルロケット作り」にご参加いただいた伊藤さん親子です。家族でロケット作りを楽しんでいました。

CHECK!!

ペットボトルの出し方 4STEP

- 1** キャップとラベルを取り外す
- 2** 軽くすすぐ
- 3** できるだけつぶす
- 4** 回収ネットに入れて出す